

落ち穂

医師である私の母は、自分の事を潔癖症の完璧主義者であると、よく私に話していました。私にもその血は脈々と流れているようです。しかし、私の場合は逆の意味での完璧主義というのか、やっかいな症状も顕著に現れているような気がするのです。例えるならば、小学生の時に新しいノートを買って貰って、最初に名前を書く時に失敗をしまつと(たいてい納得がいかないのです、完璧主義者だから)もう、そのノートを使いたくなくなってしまうのです。普段このような事は忘れていて話題にあがる事柄ではありませんが、同じような思い出がある人は結構いらっし

やるのではないのでしょうか？
また、私は計画を立てるのが好きなのですが、計画通りに事が運ばないと怒りに変わっていつてしまう傾向があるようです。諸葛孔明は「事

「〴〵の方が好ましい」

三浦 陽二

(沖縄ダルク・チーフディレクター)

を画すは人にあり、事を成すは天にあり。」と言ったそうです。つまり計画通りに運ばなければ天のせいである。もっと謙虚に考えるならばやれる事を精一杯やっただめならば天のせいであるという事で

何が起るのか解らなく、不安になり計画を立てる事で自分を安心させているのです。もっと目の前に起こっている事を感謝して受け入れていければ集中できて、このような

「過去の囚われ」や「先行きの不安」を感じる事はなく生きやすいのかもしれない。

私は「〴〵の方が好ましい」ではなく「〴〵の方が好ましい」で強く自分の中であって、注意していなければ、自然に「〴〵でなければならぬ。」と考えるようです。もう少し柔らかく「〴〵の方が好ましい」ぐらいに考えることが自然に出来れば、私の生き方はもっと楽になるのではないかと、常々反省させられています。